

公定歩合引下げに関する政策委員会議長談

(昭和55年8月19日)

日本銀行は昨年春以降物価上昇に対処するため金融引締めを実施してきたが、このところ景気の拡大テンポが鈍化しているなかにあって卸売物価はしだいに落ち着き傾向を示すに至っている。消費者物価への卸売物価上昇の波及は続いており、なお警戒を要するものの、その騰勢は幾分緩やかとなっている。また為替市場もこのところ総じて平静に推移している。

日本銀行としてはこうした物価情勢の変化等を考慮し、景気の動向にも配慮して、本日公定歩合を0.75%引下げ8月20日から実施することとした。

日本銀行としては物価の安定傾向を一層定着させ経済の安定的発展への道をひらくため、引続き景気の動向を慎重に注視しつつ、総需要の適切な管理に資するよう金融政策を運営していく考えである。

日本銀行基準割引歩合および貸付利子歩合の変更

(昭和55年8月20日実施)

1. 商業手形割引歩合ならびに国債、
特に指定する債券または商業手形
に準ずる手形を担保とする貸付利
子歩合 年8.25% (0.75%引下げ)
2. その他のものを担保とする貸付利
子歩合 年8.5% (0.75%引下げ)